

直流共鳴方式のワイヤレス給電、実用化に向けたコンソーシアムが設立

蓬田 宏樹 = 日経エレクトロニクス

2013/03/11 16:33

NPO法人であるITAC（アイタック）は2013年3月11日、村田製作所が開発したワイヤレス給電方式「直流共鳴方式」の実用化を目指したコンソーシアムを立ち上げることを発表した。名称は「ワイヤレス パワーマネジメント コンソーシアム（WPMC）」。直流共鳴方式を利用する製品の実用化の促進や、方式の標準化などを行うという。コンソーシアムは2013年4月に発足する予定（[ITACのホームページ](#)）。

ITACは、元シャープの佐々木 正氏が理事長を務めるNPO法人。今回コンソーシアムを立ち上げるのは、村田製作所が新たに提案するワイヤレス給電技術。システム全体の電力効率を高められる点に特徴があるとしている（[Tech-On!の関連記事](#)）。ITACは、「日本初のワイヤレス給電技術の、実用化や標準化をバックアップしたい」（ITAC 事務局）という狙いで、コンソーシアムを立ち上げることにしたという。ITACは、WPMCの設立キックオフのミーティングを、2013年3月22日に大阪で開催する予定である。

見えない、捕まらない！変動するスペクトラムを確実に捉えるための賢いノイズ対策
高信頼と省電力設計を実現したセンサ・ネットワークの決定版「SmartMesh」
技術者に必須の基礎力と実践力を高めるセミナー群「ものづくり塾」
エンジニアのための基礎講座「NEアカデミー」で実践技術を身に付ける
ワンランク上の専門情報パッケージ「日経エレクトロニクスPremium」

この記事のURL : <http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20130311/270491/>

Copyright © 1995-2013 Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved.

このページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。著作権は日経BP社、またはその情報提供者に帰属します。